

古文書の読み方 1

1 講座の内容

沖縄に残る古文書から琉球の歴史や社会を考えていくことを目的とする。琉球国時代に国内で作成された古文書を取り上げ、その歴史的な展開と特徴についての解説を行う。実際に古文書を数点読み、文章の読み方や文意の取り方を学ぶ。古文書はいわゆる「くずし字」で書かれており読解は難しいとされているが、比較的読みやすい古文書を教材とし、初めて学ぶ方でも親しみが持てるような講座をめざす。昨年度の講座とは異なる史料を使用する。

2 講座の概要

- (1) 講師 麻生 伸一 氏 (沖縄県立芸術大学准教授)
- (2) 日時 令和3年10月6日 (水)14:00~16:00
- (3) 場所 本会場：南部合同庁舎4階 生涯学習推進センター会議室
サテライト会場：各教育事務所(国頭、中頭、島尻、宮古、八重山)
※特別サテライト会場:多良間村、玉城青少年の家、小浜島
- (4) 受講者数 70人(PC視聴者含む)
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム・開会のあいさつ
・講師紹介
・講話
・閉会のあいさつ



3 成果

- ・初心者にも分かりやすく、とても丁寧で良かった。
- ・実際の古文書を使いながら、進めていくスタイルで身につけやすかった。
- ・古文書を読んで、歴史的背景まで読み取れることが良かった。
- ・古文書をパワーポイントで大きく拡大し、指し示しながら読み下していたので分かりやすかった。

4 課題

- ・現代語訳は受講後の受け取りを呼びかけたが、忘れて退出する方が多かった。
- ・テキスト分量が多く、三分の一程度しか消化できなかった。質問も多く上がったが、すべてに答えきれなかった。時間配分に工夫が必要。